令和5年度授業改善プラン

（取り組み内容）　・毎学期の終わり、自分の担当（各学年ごとに項目だてて）の授業に関して作成する。
・本年度の自己の研修課題に関連し、自己の授業を分析し課題を見いだす。
・見いだされた課題に対し改善プランを立て、指導方法の工夫・改善を図る。
・学期の終わりに検証を行い、来学期につなげていく。

教科名（国語科）　教科主任名　大河内麻衣

★教科・観点について
学力向上のための調査・期末テストび学期の学習状況、生徒の授業アンケートをもとに分析し記入する。＜〇成果　▲課題＞

観点	前半～9月			後半～1月			次年度に向けて
	学年	課題分析	具体的な改善策	学年	課題分析（授業改善・プランの1次評価）	1次評価後の具体的な改善策	まとめ
知識・技能	1年	[国語1]〇漢字の学習ワークを活用して学習に取り組めた。▲漢字の読みは定着しているが書き取りが不充分であった。	[国語1]・定期考査の問題を復習するなどして定着させる。	1年			
	2年	[国語1]〇話し方・聞き方に関する技能についておおむね満足できる、達成している生徒が多い。 ▲漢字の書きについて達成が低い。 [国語2] 〇反復により、文法事項の定着が見られた。 ▲基礎知識の未定着。	[国語1]漢字の単元以外にも「書き」プリントとタブレットドリルで支援する。 [国語2] 反復を続け、学習内容の取りこぼしを防ぐ。授業内で既習事項を活用する場面を設け、定着を持続する。	2年			
	3年	[国語1] 〇口語文法や古語等の知識の定着、正しい漢字の読み書き。 ▲上記への苦手意識、語彙の不足。	[国語1] 語彙を補充する課題、テストのやり直しの実施。	3年			
思考・判断・表現	1年	[国語1]〇授業内でのワークシートの問いに創意工夫して取り組んでいた。▲問いの内容が理解できずにいる生徒がいた。	[国語1]・机間指導を丁寧に行ったり、発問の内容を再考したりする。	1年			
	2年	[国語1]〇読解の達成が高く、具体的記述を抽象化できる生徒が多い。▲書く単元での語彙が少なく、題材設定・構成よりも記述の工夫が必要。	[国語1]作文指導の際、表現一覧を生徒同士で作成し、活用するような単元計画に変更する。学習者用端末を使用して打ち込みでの作文課題提出可能な環境にする。	2年			
	3年	[国語1] 〇自分の考えや、読み取った内容等を交流し、他者の発言や記述等を自分の考えと比較し、深めている。 ▲抽象度の高い表現の読み取り。	[国語1] 抽象的な語句の補充。	3年			
主体的に学習に取り組む態度	1年	[国語1]〇学習課題に積極的に向き合う態度がみられた。▲振り返りなどを通して、今後どのように技能を活用するか考えさせる。	[国語1]・振り返りの際、どのような場面で活用できるか書かせる。	1年			
	2年	[国語1]〇学習者用端末で振り返りシートを教師と共有して積み上げが出来ている。▲メタ認知できない生徒が多い。	[国語1]学習に関する振り返り、自己の客観視について補足し、具体的記述を示しながらメタ認知を促す。	2年			
	3年	[国語1] 〇テーマについて具体的に記述したり、自分の考えを発展させたりする場面が見られる。 〇学習内容を、関連する後続の単元に活かそうとしている。 ▲テーマの抽象度が高くなると、それに沿った活動が一部の生徒では見られなくなる。	[国語1] 引き続き、作業中の机間巡視、補助発問、学習内容の見通しの明確化。	3年			